

第27回令和5年度(2023年度)くまもとアートポリス推進賞募集要項

趣旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市文化並びに建築文化の向上を図るとともに、文化の情報発信としての熊本を目指して、優秀な建築家やデザイナーの才能・アイデアを集結し、機能面はもとよりデザイン面にも優れた、後世に残る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス」を推進しています。

その一環として、「くまもとアートポリス推進賞」では、建築文化に対する関心を高めるため、平成7年(1995年)から県内各地の優れた建造物等を表彰しています。

表彰対象

概ね5年以内に竣工(改造・改修・修復を含む。)した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等(くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く。)とします。

選考基準

本賞の選考は、建造物等の企画、設計、施工及び施設の利用について、次に示す評価のポイントをもとに総合的に評価します。

評価のポイント

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| ① ②～⑥の評価ポイントがデザインに反映され、優れているもの | ⑤ 地域づくりに寄与しているもの |
| ② 新しい技術的提案や工法の改善が行われているもの | ⑥ 長いスパンのライフサイクルに配慮されているもの |
| ③ ひとや環境に優れた配慮がなされているもの | ⑦ 良好な施工が行われているもの |
| ④ 施設の活用に創意工夫がみられるもの | ⑧ 維持・管理が良好なもの |

賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。事業主(必要に応じて管理者を含む。)、設計者及び施工者を知事が表彰します。

応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

選考委員(50音順)

青木 淳(東京藝術大学教授、AS共同主宰)

伊東 龍一(熊本大学名誉教授、熊本県建築士会会長)※委員長

乾 久美子(横浜国立大学大学院Y-GSA教授、乾久美子建築設計事務所主宰)

坂口美由紀(Comodo arts project代表)

富田 一哉(熊本日日新聞社編集局文化部長)

中川エリカ(中川エリカ建築設計事務所主宰)

選考経過

募 集	令和5年(2023年) 6月 1日(木) ~ 7月31日(月)	応募33件
書類選考	8月24日(木)	
現地審査	10月10日(火) ~ 10月11日(水)	
最終選考	10月11日(水)	推進賞6件、推進賞選賞2件
表 彰 式	令和6年(2024年) 1月26日(金)	

熊本県土木部建築住宅局建築課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

Tel.096-333-2537 Fax.096-384-9820

くまもとアートポリス    

発 行 者:熊本県
所 属:建築課
発 行 年 度:令和5年度(2023年度)

第27回 くまもとアートポリス推進賞

K U M A M O T O
A R T P O L I S



第27回「くまもとアートポリス推進賞」の選考を終えて

委員長 伊東 龍一

くまもとアートポリス推進賞は、これまでに185件という多くの受賞作を生み出してきました。第27回となる今年も33件の応募を頂きました。

今年の審査員は、昨年と同じ青木淳氏、乾久美子氏、坂口美由紀氏、中川エリカ氏、伊東の5名と、昨年の藤本英行氏にかわり富田一哉氏が加わった計6名です。

一次審査は書類審査で、審査員それぞれが事前審査を行って得点を付けた上で、単に得点が高い作品を選ぶのではなく、十分な議論を交わして、評価の高かった作品を選びました。議論の中では、どこが評価できるか、建物のどこをみるべきか、設計者に何を尋ねるか、といったことを洗い出し、審査員が互いに確認して二次審査に備えました。

二次審査では、まず現地審査を行い、作品を実見するとともに、設計者や施工者・所有者等から説明を受けて、質疑応答を行いました。現地審査の終了後、県庁に戻り最終審査に入りました。各審査員から1作品ごとに自身のその作品に対する評価を披露してもらい、その上で、最初に賞の対象とするもの、対象外とするものに分類し、対象とする作品のうちから「推進賞」と、これに次ぐ「選賞」を選びました。結果的に、推進賞が6作品、選賞が2作品、計8作品となりました。

熊本県は、2016年に熊本地震、2020年には令和2年7月豪雨で被災をしました。すでに地震から7年、豪雨から3年が経過しているにも関わらず、それらからの復旧が契機となった作品が4作品ありました。災害からの復旧がいかに困難なものであるかを思い知らされましたが、一方で、4作品とも災害からの復旧のよい「お手本」の域を超えた、素晴らしい建築作品となっていて何よりもうれしく思われました。

登録文化財として、その価値を損なわないように丁寧に再三にわたる検討会議をし、記録をし、新しい旅館と

してのニーズへも対応した「芳野旅館」、未指定の文化財の価値を踏まえつつ一歩踏み込んだ創造性を加味した「商工クラブ葛籠(料理谷邸)」、文化財ではないものの宗教建築として保存すべきものは何かを熟慮し整理して地域の心の拠りどころを護った「布田・龍王社」の3作品、そして選賞の、地震後の境内の再整備として、県内でも有数の古社の伝統のかたちを模索した「北岡神社(舞殿・授与所兼神輿庫・八坂神社遷拝所)」がそういった作品です。

このほか、十字ラインの明確な計画と美しいCLTの「熊本県フットボールセンターCOSMOS」、現在日本が進めているZEHの要件を満たしつつ豊かな住空間をつくりだした「本山の自邸」、シンプルで美しい「江津ハウス」の3作品、そして選賞となった、小屋組の架構が印象的な「屋根下のサロン」、といった素晴らしい作品を選ぶことができました。

また、応募作品の中には、かつて応募しあるいは受賞し、今回再び応募していただいた方がおられました。熊本や九州を中心に活動する地元の実力のある建築家の作品が目立ってきました。いずれも前作から一層の充実ぶりがかがえて、これもまたうれしいというのが複数の審査員の感想でした。このような状況こそ、まさにアートポリス推進賞の趣旨にもうたわれる、この賞の目指すところです。もちろん新しい応募者のフレッシュな作品も大歓迎したいことには変わりはありません。

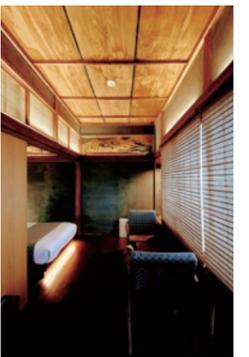
受賞者のみなさまにお祝いを申し上げます。また、惜しくも受賞されなかった方々を含め素晴らしい作品を生み出すために力を注がれた方々に敬意を表します。



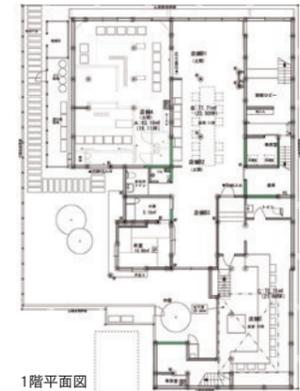
推進賞 | 商工クラブ葛籠(料理谷邸)

今年のお応募もリノベーションや改修の物件が多く見られたが、中でも本プロジェクトは既存建物を見事に現代的なニーズへと転換している作品であった。細川公より授かった料理谷という姓をもつ一家の住まいであり、料理旅館として130年あまりの歴史を持つという建物を、熊本地震の半壊判定を機に保存活用をしている。改修の方針としてオリジナルの状態に戻すことが目指されたことも特筆すべきだが、どうしても不要な部分は隠蔽するなどして、将来的な改修を見込んでいたことも素晴らしいと感じた。もちろん、大規模改修へと至らないようにするテクニックでもあったわけだが、そうしたものも

含めて合理的でクリアな判断がなされている。改修後は共用リビングや相部屋があることからゲストハウスと分類されるものだと思うが、作りは旅館の味わいも残して、こうしたものを求めている人は多いだろうと感じた。下階の飲食も建物の古さを活かして店舗が入居している。リビングの面でも的確で、現代の経済活動の中に改修物件というものをうまく位置付けていると感じた。活用がファッショナブルすぎるかもしれないというコメントもあがったが、それはないものねだり。こうした物件は、まずは残すことが重要だと思われる。(乾 久美子)



事業主 山下みき
 設計者 株式会社長野聖二建築設計處
 施工者 黄榮建設株式会社
 所在地 熊本市中央区西阿弥陀寺町6
 竣工年月 令和3年(2021年)7月
 用途 飲食店・旅館
 構造 木造
 階数 地上2階建
 敷地面積 419.70㎡
 建築面積 266.38㎡
 延べ面積 571.91㎡





推進賞 | 熊本県フットボールセンター COSMOS

一般的な屋外スポーツ施設において、圧倒的な気積、広がりを持つフィールドに対して、多くの建築はただ横に突っ立っている脇役ようになってしまう。その問題を配置計画から一石を投じたこの建築に、一次審査の時から多くの審査員の関心が寄せられた。

ここでは建築が、大きな敷地全体を田の字型に分けるために存在し、雄大なフィールドと融合・連携するように計画されている。現地審査の際にも、その効果の絶大さを確認することができた。設計としては、軒桁・棟木という在来木造であれば避けられない細やかな部材をなくすためにCLTを採用し、実にシンプルでさわやか

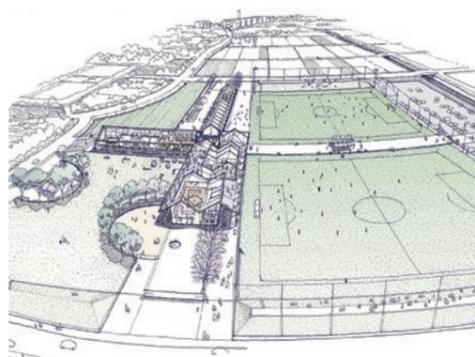
な半屋外空間を実現している。このことが、フィールドスケールと建築の持つスケールを、よりゆったりと融合する効果に寄与していることも、現地で体感した。残念ながら隣接する保育園を見学することは叶わなかったが、モノや活動が溢れる子どもたちの場をおそらくおおらかにまとめていることが想像される。

架構がもたらす場の質が、建築のスケールを超えて、屋内外の関係性と屋根下の活動の自由さを誘導していることに、多くの評価が集まった。将来の増築により、計画当初に意図された田の字型配置プランの効果のみをみるのが楽しみである。

(中川 エリカ)



写真/針金 洋介(上2枚)、田中 智之(下2枚)



事業主	株式会社熊本フットボールセンター
設計者	株式会社TASS建築研究所
施工者	株式会社シアーズホーム
所在地	上益城郡嘉島町下六嘉1533-2
竣工年月	令和4年(2022年)10月
用途	事務所・保育所
構造	木造
階数	地上1階建
敷地面積	50,023.00㎡
建築面積	1,014.50㎡
延べ面積	918.80㎡



推進賞 | 江津ハウス

一切の無駄がないという、驚くべき建築。店舗兼用住宅であること、セカンドハウスから徐々に本宅へと切り替わっていくかもしれないこと、様々な方向に魅力的な風景が展開していることを、三層+斜めの壁+開口部の開け方だけでプランニングし切っていた。

構造と工法の関係も清々しく、2層分ブレースで水平力を確保することで外壁に自由度をあたえ、さらに、製材だけで構成もできている。キャンピアーは店舗部分のひさしになると同時に、上階の住宅部

分のプライバシー確保にも生きている。無駄がない以上に、ひとつひとつの要素が「一粒で二度おいしい」状態になっているとも言える。

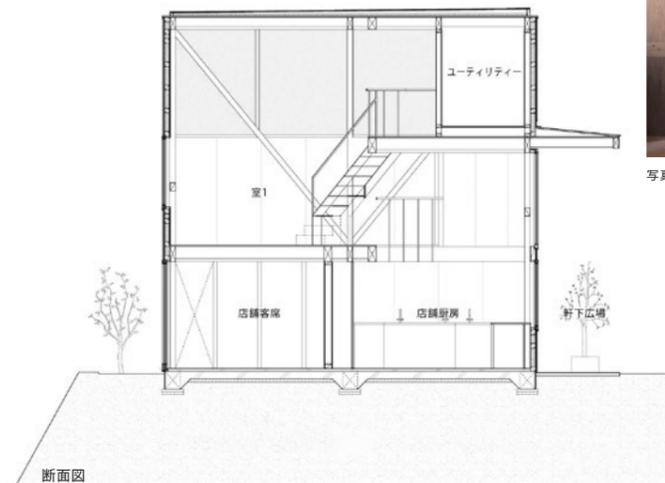
設計者が建築設計の知的な側面を存分に楽しみながら設計していることがよくわかる。建築かくあるべしと思うし、こうした爽やかな建築をみると、心が清々くなる。カフェのメニューやお店の雰囲気と建築もきちんとマッチングしていて、設計者の実力を感した。

(乾 久美子)



写真/YASHIRO PHOTO OFFICE

事業主	宮川 毅尊
設計者	矢橋徹建築設計事務所
施工者	有限会社熊本建設
所在地	熊本市東区江津1-31-11
竣工年月	令和5年(2023年)3月
用途	飲食店併用住宅
構造	木造
階数	地上2階建
敷地面積	245.81㎡
建築面積	65.61㎡
延べ面積	109.00㎡



断面図



推進賞 | 本山の自邸

熊本市中心部に近い住宅地に、コンクリートの塊のような建物がある。通りに面した壁に窓はなく、倉庫のようにも見える。古い民家などが並ぶ周辺で異彩を放っているが、内部には中庭を中心とした開放的な空間と、木材を多用した温かみのある室内が広がる。

建築士が設計した自邸。住宅設計は初めてで、一家5人の住まいと自らのアトリエを兼ねる建物として計画した。閉じた家型の中に設けた中庭を取り巻くように各室を置き、さまざまな居場所を作るコンセプトで臨んだという。

中庭に通じる玄関を入ると、正面に浴室や洗面所があるユニークな造り。それを囲むように寝室やアトリエが配置されている。樹木が植わった吹き抜けの中庭から

自然光が差し込む。階段下に造り付けのテーブルを設けるなど、スペースの有効活用も図っている。

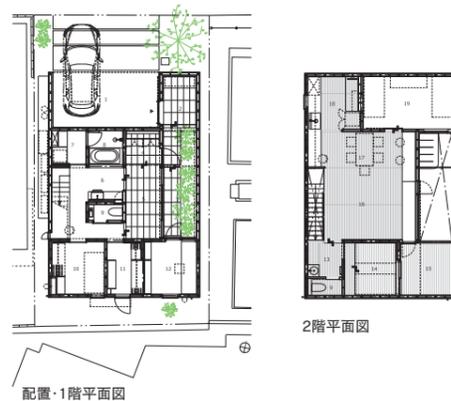
2階は、ダイニング・リビングを中心にキッチンや子ども部屋、ロフトなどをレイアウト。色や木目にこだわったという床面と天井のラワン材が、落ち着いた室内を演出している。広いテラスに出ると、壁の間から空が広がり、眼下に中庭を望む開放感が心地よい。

外観がもう少し柔らかい雰囲気だったなら、という感もあるが、現状ではそれがかえって意外性を醸し出す効果を生んでいる。秘密基地のような空間に細部まで配慮が行き届き、住んでみたいと思う家だ。

(富田 一哉)



写真/YASHIRO PHOTO OFFICE



事業主	匿名(個人)
設計者	阿部悠子設計アトリエ
施工者	株式会社エーパークビルド
所在地	熊本市中央区
竣工年月	令和4年(2022年)7月
用途	一戸建ての住宅
構造	木造
階数	地上2階建
敷地面積	131.78㎡
建築面積	69.56㎡
延べ面積	131.66㎡



推進賞 | 芳野旅館

歴史的建造物として登録文化財になっている木造二階建ての旅館である。令和2年7月豪雨では、そこに濁流が押し寄せた。

登録文化財としての価値を損なわないよう、被災状況の把握、修理の方針の決定、個々の修理箇所の検討、新しい旅館として再出発するためのニーズへの対応を検討する会議を度々開催して、それらの過程をすべて記録した。そういったことをどこまでやるかがいつも問題になるわけだが、ここではそれを徹底した。大方針にぶれはなく、個々の部分には悩みと決断があり、そこに様々な思いもこもった。濁流は、建造物の価値がどこにあるか、

を深く考え、それを保存・活用する機会をももたらした。

洗練された数寄屋風とは一味違う、人吉らしさが感じられる寛いだ意匠が随所にかがえる。この仕事の意義は、もともとこの建物もつ、そういった価値をしっかりと把握した上で、損なうことなくきちんと保存したことにある。

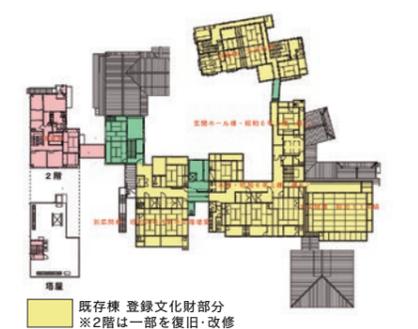
残ったからこそ、旅館として、良い建築をいかにプロデュースしてゆくのか、という新しい、希望を感じる課題にも今向き合うことになっている。建物の活用する未来が大いに拓けた。残す判断をされ、残すことに尽力された方々に敬意を表したい。

(伊東 龍一)



凡例	既存棟 登録文化財部分
	※1階は床・内外壁の大部分を復旧・改修
	既存棟 登録文化財対象外部分
	※1階は床・内外壁の大部分を復旧・改修
	増築棟(新築)部分

配置・1階平面図



凡例	既存棟 登録文化財部分
	※2階は一部を復旧・改修
	既存棟 登録文化財対象外部分
	※2階は一部を復旧・改修
	増築棟(新築)部分

配置・2階平面図



事業主	田口妙子
設計者	有限会社来夢建築設計事務所 一級建築士事務所もやいデザイン工房 有限会社UL設計室
施工者	株式会社岩永組
所在地	人吉市上青井町180
竣工年月	令和4年(2022年)10月
用途	旅館
構造	木造一部RC造
階数	地上3階建
敷地面積	2,896.92㎡
建築面積	1,177.86㎡
延べ面積	2,022.04㎡



推進賞 | 布田・龍王社

高さ25mはあるだろう、大きな杉の木の参道が15mほど続いた先に、土俵が築かれている。龍王社はその向こう正面、土俵のすぐ先のところに建つ。すぐ後には布田川が流れている。龍王社は、2間四方、高さ2間強の、流造の小さな社である。

まずは、参道の背の高いこの緑のかたまりとの大きさのバランスがすばらしい。流造と言っても、屋根に反りはなく、仕上げもガルバリウム鋼板の瓦葺き。きわめて簡素なつくりで、神社というよりも、瀟洒な小屋といった風情である。選択されたこのつくりの清々しさもまたすばらしい。

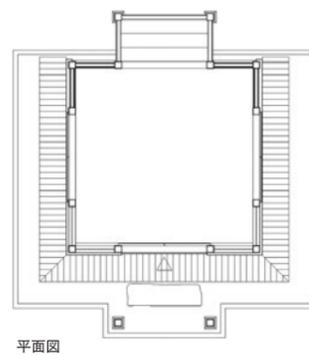
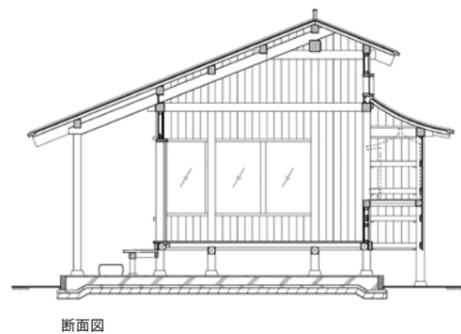
実際、社は、この地区の寄合所としても

使われる。鍵は掛けられない。なかに入ると、正面に祭壇はあるものの、杉のフローリング張り、座せば前の土俵を見る特等席ともなる。

もともとここに、龍王を祀る社があり、その前で、毎年、奉納相撲が行われてきた。それが2016年の熊本地震で基礎がずれ、本体も傾いた。その再建を地区住民が行なった事業である。再建したのは、一義的には、もとからあったウツワとしての建築ではあるが、むしろナカミを、その精神を継承することが目指された。そこに大きな意義がある「建築」である。（青木 淳）



事業主	西原村布田区自治会
設計者	株式会社文化財保存計画協会
施工者	株式会社ツカモトコムテン
所在地	阿蘇郡西原村布田1717
竣工年月	令和5年(2023年)3月
用途	神社
構造	木造
階数	地上1階建
敷地面積	507.00㎡
建築面積	14.97㎡
延べ面積	17.97㎡



推進賞選賞 | 北岡神社 (舞殿・授与所兼神輿庫・八坂神社遷拝所)

熊本地震によって被災した北岡神社の「舞殿」と「授与所兼神輿庫」の再建、そして新たに築造された「八坂神社遷拝所」の3つの取り組み。これらの建造物にはガラスが多用されていて、夫婦桶をはじめとする神社一帯の多くの緑が映え、伝統とともに新しい空気感を生み出している。

旧神楽殿は、「舞殿」と名称を改め、能舞台の橋掛かりのような回廊が創られ、舞台裏手には控室やトイレ等も配置。神楽だけでなく能楽や地域住民の演芸の発表やコンサート、結婚式など、より多目的な用途に使えるように進化している。

改修された授与所には、神輿の保管庫としての機能も追加された。平安時代から伝わり、戦後の混乱や時代の流れの中で途絶えた祇園祭は青年有志の祇園会により平成

23年に復活・保存継承され、半世紀以上眠っていた神輿が修復された。年に1回の北岡神社の祇園祭の日にはここからこの神輿が地域を巡行する。ガラス越しに見える神輿からはこの地域のプライドが感じられる。

さらに、北岡神社は京都の八坂神社から分霊を勧請されたことから「八坂神社遷拝所」が新たにつくられた。江戸時代から受け継がれてきた旧神楽殿の柱脚部分の石枠を基礎として再利用し、八坂神社の方向と距離がガラスに刻まれている。

復興支援の会と祇園会によってつくられたこれらの建造物に人々が集い、コミュニティの中心となって活用され、地域づくりに寄与していることが今回の受賞のポイントである。（坂口 美由紀）



写真/上 舞殿、中 授与所兼神輿庫、下 八坂神社遷拝所

事業主	宗教学法人北岡神社 北岡神社震災復興支援の会 北岡神社祇園会
設計者	ユニ建築設計有限公司 親庭
施工者	株式会社三津野建設 株式会社オンサイト 北岡神社祇園会

所在地	熊本市西区春日1-8-1
竣工年月	令和3年(2021年)2月
用途	神社
構造	木造
階数	地上1階建
敷地面積	6,165.34㎡
建築面積	56.76㎡
延べ面積	83.01㎡





くまもとアートポリス推進賞一覧

● 推進賞 ○ 推進賞選賞



推進賞選賞 | 屋根下のサロン

もともと街の人々が気軽に集まる小さな集会所のように機能していた美容室の移転計画。

新築にあたり、土地は変わっても、引き続き、日常の中でふらっと立ち寄ることができる開かれた存在を目指したという。その言葉の通り、現地審査の際には、カット台、待合を含めて、ほぼ満席であり、当初の目標が達成されていることを審査員一同で確認した。開かれた場であるために、設計としては自然光を可能な限り取り入れること、木造でありながら柱や壁がない高天井のワンルームを採用している。特徴的な屋根の架構は、この目的

のために考案されたものであり、ハイサイドから取り入れられた光によって、とてもあかるい場が生まれていた。

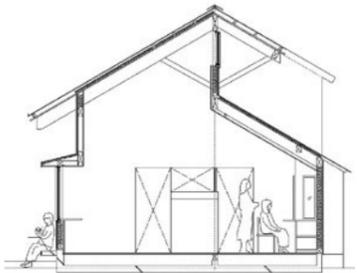
ただ、唯一気になったのは、カット台に座る際、待合に座る際、熊本の豊かな風景よりも、隣接する駐車場が目に入ってしまう点であった。水平な広がり意識したという開口が、もって風景に向く配置計画と運動していたら、カット台の鏡の反射がもう少し意識されていたら、より素晴らしい建築になったであろう。個別のアイデアが関連し、相互補完することにより、もって大きな効果を全体にもたらすような建築を、今後ぜひ期待したい。(中川 エリカ)



写真 / Youssuke Harigane



配置・1階平面図



断面図

事業主	合同会社Felicite by Pourvous
設計者	FUMI EGAMI ARCHITECTS
施工者	銀杏開発株式会社
所在地	合志市御代志1881-3
竣工年月	令和5年(2023年)2月
用途	美容室
構造	木造
階数	地上2階建
敷地面積	233.08㎡
建築面積	68.72㎡
延べ面積	79.03㎡

第1回 1995年度

- 小国町立西里小学校
- 東陽村石匠館
- 八代広域行政事務組合消防本部庁舎
- 株式会社野田市兵衛商店流通団地営業所
- 清和物産館(四季のふるさと)
- 荒瀬ダムポートハウス
- 出田眼科病院
- 尚玄山荘

第2回 1996年度

- 社会福祉法人 慈愛園ノーマンホーム
- 阿蘇白く温泉「瑠璃」
- ふるさとセンターY・BOX

第3回 1997年度

- 久連子古代の里
- 養護老人ホーム八代市立保寿寮
- 水俣市営洗切団地
- 丸尾焼工房
- 人吉の舎II / 平井邸
- 浮島周辺水辺公園

第4回 1998年度

- 老人保健施設 かみ苑
- 熊本県信用保証協会八代支所
- HOUSE:H-M
- 水俣市保健センター・水俣市総合もやい直しセンター
- 古閑邸
- 聖母の丘
- 宮原町下宮はまんど公園

第5回 1999年度

- 水上村立湯山小学校
- 中央町総合交流ターミナル「石段の里 佐俣の湯」
- 植柳新町公民館(地域学習センター)
- シルフ・エッセ
- 50M-棟の森美術館
- 宮崎耳鼻科
- 矢野邸

第6回 2000年度

- やつしろハーモニーホール
- 城南の舎
- 中央町福祉保健センター「湯の香苑」
- ネクステージビル
- 熊本YMCA 阿蘇キャンプメインホール
- セカンドサイト
- 霧の斎場

第7回 2001年度

- 荏原九州
- K.Residence
- つなぎ美術館
- 稗田の舎
- ガレリアのある舎
- chase
- キューネット社員寮「希翔館」

第8回 2002年度

- 久野邸
- 立田山野外保育センター「雑草の森」
- 八代の町屋
- いのうえデンタルクリニック
- 大野温泉センター

第9回 2003年度

- 熊本保健科学大学
- I-HOUSE
- 熊本現代美術館
- UEDA.Residence

第10回 2004年度

- 九州新幹線 新水俣駅
- S.W.H
- 田迎の家
- 東海大学付属第二高等学校
- ひだまりのまち B4

第11回 2005年度

- k-house in 近見
- 高瀬蔵
- 3 Towers

第12回 2006年度

- 美里町立中央小学校体育館
- 玉名温泉つかさの湯
- 堀田眼科病院

第13回 2007年度

- 阿蘇の舎
- nina Dental Clinic
- 西の久保公園
- "B"-studio
- 永田歯科
- H-court
- 熊本学園大学14号館(60周年記念会館)
- 城下町の住宅
- 多良木町交流館石倉
- グリーンツィードアンドカンパニーアジアエンジニアリングセンター
- AI mall
- コンパスポイント本社ビル

第14回 2008年度

- 障害者多機能型施設 高森寮
- B-house in 島崎
- ジャンクルジムの家
- Chro-e#01(クローイ#01)
- ガーデンコートゆうかり
- 松木運輸株式会社
- しらさぎおざや
- 済生会熊本病院外来がん治療センター
- barn renovation

第15回 2009年度

- 畑の中の一軒家
- 川上酒店
- i-CUBE#01(アイキューブ#01)
- 光の森の住宅
- 桜木の家
- R-House in 梶尾
- YMCA赤水保育園
- 熊本市下通2・3・4番街アーケード

第16回 2010年度

- 道と暮らす家
- 天草文化交流館
- C-HOUSE
- 芦北町立佐敷小学校
- 百年遺伝子の門
- T-house in 高森

第17回 2011年度

- 熊本市医師会館・看護専門学校
- 高瀬
- 宮原邸
- 嘉島の家
- 田園住宅(篠崎邸)
- I-apartment
- 松の湯
- 矢部の家
- Shipな家

第18回 2012年度

- 行徳眼科
- 八代の家
- 護岸の家
- 器季家カフェ
- 阿蘇くまもと空港国内線ターミナルビル
- 小規模多機能型居宅介護ハイマートの郷
- ユウハウス
- House-Sim
- ±5" SEPPAN BOX

第19回 2013年度

- 大江の舎 / 親誼書房
- T邸
- 風と共に
- 中九州クボタ本社・物流センター
- 南阿蘇原眼科
- 光影Archive / 長洲の家
- 坪井の家
- 渡邊総合内科クリニック / 高森わたなべ薬局

第20回 2014年度

- 沼山津の家
- House F, nagamine

- 湯浦温泉センター
- MA-HOUSE
- 供養普請の家(佐藤忠商店)
- 古代の風 黒の蔵-多良木町埋蔵文化財等センター
- 熊本市西区役所
- 旅館 心乃間

第21回 2015年度

- Leeこどもクリニック
- 千丁の家
- 京町の家
- T.house in 武蔵塚
- 33'46'48"
- 玉東町の家
- 第一幼稚園
- 南阿蘇の小さな診療所
- 葉味筆筒の家

第22回 2017年度

- わかたけ保育園
- 再春館製薬所体育館サクラリーナ
- SA-HOUSE
- GALLERY FLOWER GARDEN
- 熊本県民テレビ新社屋

第23回 2018年度

- 錦ヶ丘の家
- 合志マンガミュージアム
- 川尻の町家
- MU-HOUSE
- 尚綱大学短期大学部附属こども園
- 園田教材社
- 町営住宅倉原団地

第24回 2019年度

- 川尻公会堂
- Y-HOUSE
- 地獄温泉青風荘・すずめの湯
- 地の舎
- 南阿蘇村買取型災害公営住宅馬立団地
- オモケンパーク
- 西原村買取型災害公営住宅山西団地
- にしきみつ基地ミュージアム(錦町立人吉海軍航空基地資料館)
- 滝尾幼稚園
- いでた平成眼科クリニック

第25回 2021年度

- 下江津の家
- そらいろ保育園
- PLAY FARM・ツリーハウス
- HIKE(ハイク)
- 八代市民俗伝統芸能伝承館(お祭りてんでん館)
- 益城町の事務所
- 切妻と土間の家
- 松橋の家
- 南阿蘇村買取型災害公営住宅 長陽西部団地・下西原第2団地
- 地獄温泉 清風荘

第26回 2022年度

- 村川造園自宅
- N-HOUSE
- 神水公衆浴場
- 床と大地の余地
- ケアポート益城
- 上乃裏通りのビルディング+
- 線景の家
- 南関町庁舎
- 岱明の家
- かえでの森こども園

第27回 2023年度

- 商工クラブ葛籠(料理谷邸)
- 熊本県フットボールセンターCOSMOS
- 江津ハウス
- 本山の自邸
- 芳野旅館
- 布田・龍王社
- 北岡神社(舞殿・授与所兼神輿庫・八坂神社遷拝所)
- 屋根下のサロン